

---

# 神の世界と悪魔の世界

三島 愛美

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神の世界と悪魔の世界

### 【Nコード】

N5483L

### 【作者名】

三島 愛美

### 【あらすじ】

4人は最初は極平凡な中学生だった。だが、なぜか神の世界と悪魔の世界の境目に来た。そして、見知らぬ、声だけの人（人かな？）から神の世界へ行くか、悪魔の世界へ行くか決断を迫られた。果たして4人はどちらの世界に行くのか・・・??

## 第1章―人物紹介（前書き）

異世界をテーマに書いてみます。感想や、評価をよろしく願います。

「名前がリアルじゃない。」等は感想に書き込まないよう、お願い申し上げます。

## 第1章 人物紹介

### 人物紹介

(名前、ニックネーム、ちよつとした紹介)

魔菜旧まなもとつきな 月奈(つき)・・・神の世界と悪魔の世界の境目につれてこられた。

自分の足の速さに自信がある。逃げ足がはやい。中2、誕生日は8月7日。女、O型でマイペース。主人公。

品旧しなむぐわい 沙代子(さよ)・・・月奈と同じく神の世界と悪魔の世界の境目につれてこられた。中学校では、学校1のモテモテ。頭が良く、スタイル抜群。容姿、性格ともに の完璧少女。月華の親友。中3、誕生日は12月12日。女、A型で几帳面。

陣基じんもと 順次(じゅん)・・・2人と同じく神の世界と悪魔の世界の境目につれてこられた。かなりのイケメンで、頭もいいし、スポーツマン。つまり完璧少年。月奈のことが好き。

中2、誕生日は6月10日。男、B型。

皆中みななか 雄哉(ゆう)・・・3人と同じく神の世界と悪魔の世界の境目につれてこられた。学力、ルックス、運動・・・すべて平凡で、自分に自信がなかった。が、沙代子が自信を付けてくれた。沙代子の事が好き。順次、月華、沙代子の友達。中3、誕生日は3月28日。男、AB型。

## 第2章 一人物紹介とは別の、長いプロローグ（前書き）

今話は4人はどっちの世界に行くか、決断が迫られます。

## 第2章 一人物紹介とは別の、長いプロローグ

《4人さん。いますか?》

その声は、女の人の声。優しそうな人。天使かな?

「……………いますよ〜!」「……………」

《とても元気がいいですね^^》

「……………ありがとうございます〜す!」「……………」

《タメ語でもいいですよ。》

「……………りようかあい!」「……………」

《では本題に入りますね。実は……………

4人さんに、神の世界に行くか、悪魔の世界に行くかを決めてほしいんです。》

「……………え……………!!?!?!?!」「……………」

《いきなりすいません。驚きますよね。》

「……………  
……………  
……………」

《明日までに、お願いします。でわ》

「……………どうする?」

これは私。

「……………どうするって……………」

順次

「あたしは神の世界に行きたい……………!!」

沙代

「俺は悪魔の世界にいきてえ……………」

雄哉

「……………ん……………。迷う……………」

私

「なんで迷うの!?!?神の世界の方がシアワセになれるかもだよ!?!」

沙代。

「そうだね……。うん。神の世界に行く!!」  
私

「マチかよ……………」

雄哉

「僕も神の世界に行く!!」

順次

「え。じゃあ俺も行く。」

雄哉

「行きたくなかったらいいんだよ？無理しなくてもいいんだよ？」

沙代

「いや、無理なんかしてねえよ」

雄哉

「決断の日」

《みなさん、決まりましたか??》

「……………はぁ〜い!!!!」「……………」

《そうですか!では、教えて下さい》

「……………神の世界でえ〜す!!!!」「……………」

《わかりましたわ。今からワープをします。すこしクラクラするかもしれない。ご了承下さい。》

1、2の3!!!!!!!!!!《

本当にくらくらした。

「もう着いた??」

《はい、着きましたわ》

「空気がいいですねえ」

《そうですよね。気持ちがいいんです》

「こっちに来て、よかったかもしれないな……………」

《そうです。こちらの方が圧倒的によかったですと思います。これを見

てください」

それは、悪魔の世界の様子が見えた。みんな、大王の言うとおり、ただ働いているだけだった。そう、神の世界とは正反対の……。《今まで、おもしろ半分が悪魔の世界に行った人がいるんです。すると、天罰が下ったんでしよう。ご飯は2日に1回。そして毎日働きっぱなし。最悪の世界です。》

「だってえ！ゆう、行かなくてよかったねえ！！」

「うるせえ！！」

「あ、顔赤くなってるけど大丈夫？」

「大丈夫だ！！！」

当たり前だろ……。俺の目の前に月奈がいるんだから……。

《これから、あなたたちに家を授けます。そこへワープします。

1、2の3！！！！》

《着きましたよ。ここです。》

「わぁ……。ひろお〜い！！！」

《この部屋に、4人で寝てもらいます。他の部屋には、違う住人がいるので……。申し訳ありません》

「いえいえ。俺は別にいいっすよ！！！」

《ありがとうございます。》

《あ、あと、これからワープは自由に出来るようにします。あとで授けます。

しかし、注意点がいくつかあります。

”1、どこにでも、ワープで行かないように！！ワープは1日に5回までです。もちろん、1日は使わずに、次の日10回使うのもOKです。

2、ワープを無くさないように！！ワープは、カードです。カード

をなくしてしまうと、もう、再発行は出来なくなります。ご了承下さい。

3、人のを使わない！ワープは、自分のしか使ってはいけません。もし使った場合は、悪魔の世界へ言ってもらいます。

4、なくしたらすぐに言う！なくしてしまったら、【基本は】再発行できませんが、王様に言えば、発行できる『場合』があります？

以上です。さて、渡しますね《

「よっしゃあ〜！早く渡してくれ〜！」

《ですから今から渡すって言ってるでしょう！（怒）《

「あ、すみません・・・」

その情けない姿に、私たちは苦笑してしまった。

《月奈さん〜！》

「はい〜！」

《どござ。》

「ありがとうございます」

《沙代子さん〜！》

「はい。」

《どござ》

「どござ」

《順次さん〜！》

「はい・・・」

《どうぞ》

「ありがとうございます」

ていうのが、雄哉まで続いた

「なんで俺がナインだ!!」

.....。

改めて、神の世界に来てよかった。っっておもった。

## 第2章 人物紹介とは別の、長いプロローグ（後書き）

次は、神の世界での暮らし（？）について書きます

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5483/>

---

神の世界と悪魔の世界

2010年11月23日06時40分発行